

スカパーJSATグループ 2016年度 上半期番組審議会

(スカパーJSAT 第26回、スカパー・エンターテイメント第19回、スカパー・ブロードキャスティング第25回)

開催年月日：2016年7月8日（金）

開催場所：スカパーJSAT株式会社 経営会議室

出席者

（審議委員）

委員数：7名

出席委員数：5名

審議委員長：高畑 文雄

委員：藤原 洋

委員：逢坂 剛

委員：崔 洋一

委員：二宮 清純

（スカパーJSATグループ）

西山 茂樹：（スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員会長）

高田 真治：（スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長）

小牧 次郎：（スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 有料多チャンネル事業部門長 兼 放送事業本部長）

古屋 金哉：（スカパーJSAT(株) 執行役員 有料多チャンネル事業部門 カスタマー事業本部長）

米澤 稔：（(株)スカパー・ブロードキャスティング 代表取締役社長）

上田 徹：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部長）

（株）スカパー・エンターテイメント 取締役）

渡部 康弘：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 BSスカパー運営チーム チーム長）

前川 利泰：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 チャンネル事業チーム チーム長）

植田 恭輔：（スカパーJSAT(株) 放送営業部 企画プロデュースチーム）

軽部 岳大：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 チャンネル事業チーム）

長内 敦：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 BSスカパー運営チーム）

審議番組（1）「知力 vs 運力 vs 予言力！スカパー！160ch 横断未来予想クイズ」

◆放送概要

放送日：6月6日（日） 14：30～17：30 無料生放送

放送チャンネル：BSスカパー！

◆放送コンセプト

・年間スケジュールの重要期に行う、お祭り番組

→四半期に1度（加入販促の）重要期に実施。

- ・多チャンネルの魅力を、番宣番組の体裁でなく、エンターテインメント仕立てで紹介。
- ・地上波放送では真似できない企画
 - 160 チャンネルに及ぶ裏番組を生放送でザッピングしながら、これから数分後の未来に起こる、放送される出来事を当てる、というクイズ番組形式のバラエティショー。
- ・クイズは、生放送の偶然性を装って進行していくが、実際にはCM尺も含め、秒単位で（正解シーンが放送される時間を）計算して実施されている。
- ・過去2回放送し、今回で3回目となるが、認知も広がり推定の番組到達世帯数も、初回と比べ、大きく伸ばしている。

審議番組（2）「コパアメリカ センテナリオ U S A 2016

◆放送概要

放送日：6月3日（金）～ 6月26日（日）※全32試合 開催日は19日間

放送チャンネル：スカチャン0／BSスカパー！

◆放送コンセプト

- ・コパアメリカ関連番組を24時間放送する「コパアメリカチャンネル」を開局。シーズン終了後の、「欧州サッカーセツト」加入者解約防止のため企画。
- ・連日4時間以上の生放送を実施。
 - （1）試合中継： 連日午前中に編成。南米サッカーの魅力である、個人のテクニック、プレーの激しさ、勝負へのこだわりを分かりやすく伝える。また、日本のサッカーがより強くなるためのヒントを見出して、中継内で紹介する。
 - （2）コパアメリカ ハイライト！： 連日20：00-20：30。
 - （3）俺に言わせい！サッカーおやじ会スペシャル！：連日23：00-24：20
解説者、ジャーナリスト、クラブ関係者などによる座談会番組。
- ・欧州サッカーファン全体に喚起：同時期に「欧州選手権EURO2016」を放送したWOWOWとの連動したキャンペーン等を実施。
- ・SNS等で、おやじ会が好評を博す。

審議番組（3）BSスカパー！オリジナルドラマ「ひぐらしのなく頃に」第1話

◆放送概要

放送日：5月20日（金）～ 毎週（金）21：00～22：00 ※全6話

放送チャンネル：BSスカパー！

◆放送コンセプト

- 「有名原作」×「人気アイドル」×「ホラー」の掛け合わせで、地上波では見られない、差別化したジャンルとして企画。
- ・「有名原作」：サウンドノベル、漫画、アニメなど累計発行部数1300万部の作品の実写化。「原作に忠実に」再現する。
 - ・「人気アイドル」：AKBグループの「NGT48」を起用。BSスカパー！でも視聴接触率の高いアイドルジャンルを作品に取り入れる。ロケ地に新潟を採用し、地域とも連携を図る。

- ・「ホラー」：バイオレンス等、地上波では見られないジャンルとして「ホラー」を開拓。
- ・視聴者の反応（1）：第1話の接触率は、オリジナルドラマ歴代2位。エリア別は新潟が属する甲信越地方の接触率が際立って高い。
- ・視聴者の反応（2）：SNS等の反応では、当初実写ドラマ化に批判的な声が多数あったが、放送中から、原作の忠実な再現度の高さによりポジティブな反応に切り替わる。放送終了後は、原作ファンにも好評であった。

報告「BSスカパー！ 運用基準における反社会的・暴力・残虐シーン等の基準について」

◆報告事項

- ・オリジナルドラマ「ひぐらしのなく頃に」がホラージャンルで、話中に残虐シーンが含まれることを踏まえ、BSスカパー！の運用基準（SJC、SPBC、SPETの3社にて制定）に、「反社会的・暴力・残虐シーン」に関する基準を付記する。
- ・PG12、R15+、R18+、それぞれの判断基準および放送する際の対応策を制定。

<審議委員よりご意見>

審議番組（1）「知力 vs 運力 vs 予言力！スカパー！160ch 横断未来予想クイズ」

- ・インターネットが始まった頃に、ネットの普及に「ネットサーフィン」という手段があったが、それを彷彿させた。スカパー！のおもしろさを伝えるのにクイズ形式で見せる、というアイデアはよかった。
- ・クイズ形式の番組とザッピングでの番宣のバランスが難しい。クイズ番組に寄ってしまうと、3時間の放送尺が冗長なので、緩急つけた演出が必要。MCと回答者の掛け合いも（回答者のキャスティングにバリエーションがないので）一方的になるのも、構成上一考したい点。
- ・各クイズについて、ちょっとしたカルト的なヒントがあれば、もう少しクイズそのものが楽しめたのでは？サッカー試合のクイズであれば、過去データの統計のようなヒントや、公営競技についても、その道の専門家から用語説明があるような演出があれば、視聴者が知らなかった分野の番組の導入として成り立つのでは。
⇒もともとはリアルタイムに「ザッピング」という、地上波ではできないことを元に、番組フォーマットとしては皆が慣れ親しんでいる「クイズ番組」という形にして、番組紹介するというコンセプトであったが、今回3回目の放送にしてクイズ番組としてこなれてきたので、「ザッピング」のリアルタイム性があまり強調されなくなってしまった。

審議番組（2）「コパアメリカ センテナリオ U S A 2016」

- ・「コパアメリカ」というコンテンツの位置づけを明確化する必要がある。やっぱりサッカーといえば、W杯、次にユーロ、という認識が強く、特に「国の威信をかけた戦い」という言葉で説明してしまうと、前出2つのコンテンツに引けをとってしまう。そうではなく、コパは「国の威信を超えたもの」とすべき。コパはある意味とても古典的、そして世界の技術が集まっている、という魅力を伝える工夫をしたほうがよい。
- ・ハイライト、おやじ会のセットは、アメリカよりも南米を意識してほしかった。今年ハリオ五輪もあることだし。おやじ会の飲食物も、もっと南米色を出して徹底して。また、おやじ会はフリートークではあるけれども、演出上の配慮でもう少し突っ込んだ（徹底した）話題も取り上げられたら、深みが出たと思う。また、南米サッカーに関するマニアックな解説や、その文化についての豆知識を差し込んだりして、サッカー初心者にも関心が持てるような内容もほしい。

- ・おやじ会があるなら、サッカー女子会も見たい。昨今の相撲や広島カープの女性ファンのように、ちょっとマニアックな専門的な女性ファンの座談会は興味がある。
- ・今回WOWOWと連携して（欧州サッカー全体を）盛り上げたのは、とても大事だと思う。ただ、協調は出ていたが競争は少ない印象。ユーロ vs コパ、WOWOWvs スカパーみたいな図式でつくるのも盛り上がるのでは。
- ・現地制作（アメリカ）の映像についてのコメントについて、やはりどこか（サッカーに）詳しくなると、どうしても発想が内向きになる傾向がある。サッカーに詳しい出演陣、制作陣にとって「（サッカーがあまりメジャーではない）北米で開催されるコパアメリカは本当のコパアメリカではない」というニュアンスが伝わってしまう。それは自分たちの商品をおとしめることにも繋がっていくので、（番組中のコメントには）気をつけなくてはならない。
- ・今回、コパアメリカの特設HPが非常に出来がよかった。デザインもスマート。また「ロツラー」の企画も、香川選手を使った紹介もわかりやすい、ぜひ継続してほしい。

審議番組（3）BSスカパー！オリジナルドラマ「ひぐらしのなく頃に」第1話

- ・ターゲットがよくわからなかった（スカパー⇒30-40代の男性がメイン）、スカパーの視聴者が大体中高年かと思っていたので、制作主旨がよくわからなかった。また、昭和58年の時代考証が、特に言葉遣いが、なされていなかった印象。
- ・AKBの総選挙が新潟で行われるのに合わせて、さらにNGT48のメンバーも採用しているという企画はとてもよかった。ただそれがわかりにくいのかも。事前のキャンペーンなどでしっかり告知すればよかった。新潟の町おこし、地方創生にも一役買っているところもあるので、そこをもう少しアピールされると（もっとよかった）。
- ・これはオリジナル、というより原作ものである。その原作、とくにアニメ作品に熱心なファンが一定数いる。原作に忠実、というのは現在ある種トレンドではあるが、それと（時代考証等の）作品の完成度というのはバランスが非常に難しい。また、新潟という（AKB総選挙）要素も含め、いろいろなことを混在させた上での、ある意味政策的な番組なのだな、と認識した。
- ・オリジナル、という点では、今一番求められているのは、原作物のドラマ化よりオリジナルをスカパーが制作し、それがさまざまに汎用される、ということではないか。ネット配信の会社がドラマ制作に参入する時代、スカパーもその点も考えていかないと成長がないのでは。
- ・地上波で受けるドラマとスカパーで受けるドラマは本当に違っていいと思っており、（この作品は）これでスカパーらしいドラマの流れのような気がする。制作費も含め。
- ・コンテンツの面白さ、という点に関しては、訴求力、説得力というものは地上波、スカパーなど媒体は問わないのではないかと。ただ、今回は原作を知らないこの作品そのものが楽しめない。
⇒確かに本作品は、原作を知っている人に向けて制作した。（少なくない数いる）原作ファンを対象にしているので、原作に忠実に、が第一。時代考証は（原作に反することになるので）してはいけないという考え方で作った。スカパーが今後どのようなドラマを制作するかは、試行錯誤の段階であるが、今回はドラマを目的に加入する人のひとつのきっかけとして、この「原作忠実路線」は、「あり」という手ごたえがあるので、ひとつの方向性としてやっていきたいと考えている。